地域を育み、大陸をつなぐ

創立の原点に回帰しよう

Governor's monthly letter

ガバナー月信6月 しらこばと12号

2010－11年度 国際ロータリー第2770地区

ナイヤガラの滝（2010年国際大会にて撮影）

写真提供：中島 美三郎（越谷RC）

6月は ロータリー親睦活動月間です

クラブ拡張は親睦が大切です
親睦でロータリーの
内外の和を広げよう

“今から、ここから!!”

一年間ご苦労様でした、

来年も増強をクラブのために。

自分のグループ、自分のクラブ、自分の手で

目標 368　　増員 190　残 178

会員増強維持部門委員長　梶間順子（浦和中RC）

【第6グループ紹介】

春日部駅東口モニュメント通り

会員増強目標29頑張ろう

ガバナー補佐：**大宮 英男**（春日部南RC）

会員増強応援団：**石井治PG**（春日部）　**関口博正**（杉戸）
三國明（春日部西）

春日部・杉戸・春日部西・庄和・春日部南・
春日部イブニング・杉戸中央
（紹介グループ　順不同）

〒330-0063　さいたま市浦和区高砂1－2－1－116　エイペックスタワー東館1階
TEL：048-827-0022　FAX：048-827-0011　E-mail：ri2770-184@plum.plala.or.jp

東日本大震災に思う

ガバナー　井橋　吉一

東日本を大震災と大津波が襲って２カ月が経過しました。被災した地域が広域に及び、さらに福島第一原子力発電所の事故による影響で復興事業が遅れて避難している人達が12万人以上います。この様に多くの人が２カ月以上もプライバシーを守られていない避難所での生活を送っています。また福島第一原子力発電所近隣で避難地域に指定されている人達が、いつ地元に戻れるか分からずに各地で避難しています。加須市に町役場ごと避難している双葉町民の人達も同様です。さらに原子力発電所事故を巡る問題は一進一退の深刻な事態が続いており、避難している人達は不安を募らせています。

この状況にも関わらず避難している人達はじっと我慢して秩序を守っています。これは日本人の素晴らしさだと思います。海外では大災害や大事故が起きた場合に盗み、殺人、暴動等が発生している場合が多く、その状況をテレビ、新聞でよく報道されています。

日本人は忍耐づよく、秩序を持って人に対する思いやりがあります。この度の大災害で日本人の素晴らしさが実証されています。また被災した人達が各地で再起を目指して力強く動き出しました。必ず被災地は復活すると確信してます。さらに多くの若者が被災地でボランティア活動に参加して、復旧事業または被災した人たちに元気になってもらおうとイベントを行ったりして活躍しています。

日本は過去に1945年８月第二次世界大戦の敗戦で壊滅的な状況になりました。また自然災害として1923年９月に関東大震災がありました。その他1995年１月に阪神・淡路大震災もありました。その度に国民は立ち上がり復活してきました。

今回の東日本大震災の災害と原子力発電事故で海外から日本は復活できるか注視されています。しかし国内では必ず日本は復活すると考えている人は多いと思います。必ず日本は復活します。

会員増強“今から、ここから!!”カウントダウン

	ガバナー補佐	目標	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	４月	累計	目標まであと
第１グループ	佐伯　鋼兵(浦和南)	23	4	3	0	1	0	0	0	1	0	3	12	11
第２グループ	篠原　唯史(浦和北東)	23	8	1	1	2	0	2	1	0	2	0	17	6
第３グループ	野原　哲夫(さいたま欅)	37	10	2	3	3	1	3	0	3	2	1	28	9
第４グループ	小野寺　芳彦(大宮北東)	37	4	0	2	2	0	6	2	6	3	8	33	4
第５グループ	小畑　正勝(鴻巣水曜)	34	3	1	3	1	0	1	2	0	1	0	12	22
第６グループ	大宮　英男(春日部南)	29	4	1	3	0	1	0	0	0	0	1	10	19
第７グループ	石井　明(幸手中央)	27	1	2	1	2	0	0	0	2	2	0	10	17
第８グループ	神谷　治善(越谷南)	38	6	3	2	1	2	2	2	3	2	2	25	13
第９グループ	牛山　信康(草加)	35	3	3	1	0	1	0	1	0	2	0	11	24
第10グループ	小島　朗(松伏)	25	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	5	20
第11グループ	江口　正史(川口南)	29	2	2	5	0	0	0	1	0	1	0	11	18
第12グループ	遊馬　幸義(蕨)	31	4	2	1	2	0	1	2	4	0	0	16	15
合　計		368	51	21	22	16	5	15	11	19	15	15	190	178

IM報告

IMのテーマ「地域を育む奉仕」

第10グループガバナー補佐　小島　朗（松伏RC）

2011年２月16日（水）吉川市福寿家に於いて井橋ガバナー・三郷市長・吉川市長・松伏町長をお招きして簡素で実のある内容のIMを目指し例年にないメンバーの出席をいただき開催されました。

第一部は特に第10グループから地区役員として活躍されている13名のメンバーをお一人お一人紹介し、労をねぎらい、ますますのご活躍を御祈念いたしました。また、次年度ガバナー補佐の公式の発表をいたしました。

第二部は各ロータリークラブが地元地域に密着した素晴らしい奉仕プロジェクトを展開しています。プロジェクター等を使用し内容・成果・将来展望を発表していただき各首長様、メンバーの理解していただき行政又は他のロータリークラブと協力し合え、合同事業を行われるようにしてスケールメリットを得、当グループの藤田パスト・中村パストにアドバイスをいただき、ますます充実した事業を展開していけるよう開催致しました。

第三部は交流と親睦の集いとして、まずは次年度会長幹事の紹介と挨拶があり、余興として二名の落語家をお招きして時間の過ぎるのを忘れるほど楽しく開催されました。

実行委員会・会長幹事をはじめすべての皆様に感謝を申し上げ、報告とします。

平成23年３月９日～10日開催

会長エレクト研修セミナー（PETS）開催報告

次年度地区幹事　鶴見　　裕（春日部西）

ガバナーエレクト　三国　明

２日間の研修となって３回目の今回は３月９日～10日の日程で越谷市民ホールにて開催されました。地区役員、会長エレクト含め総勢約170名がご参加され、第１本会議では井橋ガバナーにご挨拶いただき、北清治次年度地区研修リーダーには「会長のリーダーシップについて」をテーマにご講演いただきました。その後、三國ガバナー・エレクトから次年度のテーマ及び方針が発表されました。

各部門の方針発表は各部屋に分かれ、部門委員長を中心に少人数討論スタイルで進め、会長エレクト移動参加型の研修を行いました。ガバナー補佐と会長エレクトが１セッション40分、９つの部門にそれぞれ移動して受講していただきました。次年度の方針を勉強しながら現在の自クラブの状況を披露し、また他のクラブの動向についても把握することが出来る良い機会になりました。

この度ご参加いただきました会長エレクトの皆様が、クラブ会長としてリーダーシップを発揮されることを祈念しご報告とさせていただきます。

各セクション分科会

職業奉仕部門

社会奉仕部門

国際奉仕部門

新世代部門

ロータリー財団部門

米山奨学部門

管理運営部門

広報部門

会員増強維持部門

平成23年４月16日開催

地区協議会開催報告

2011～2012年度の地区協議会が４月16日（土）に大宮ソニックシティにおいて開催されました。今回の開催に関しまして、震災に関する様々な影響がある中、皆様方には大変ご理解をいただきまして当初の予定通り開催できましたことを大変嬉しく思い、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

協議会には次年度各クラブの会長、幹事をはじめとするクラブ理事の皆様と、パストガバナーをはじめとする地区役員等、例年同様の総勢898名もの参加者をいただいたことをご報告させていただき感謝申し上げます。

10時20分、被災地並びに被災された方々への黙祷を捧げた後、三國明ガバナー・エレクトの点鐘で第一本会議が始まりました。井橋吉一ガバナー、北清治次年度地区研修リーダーにご挨拶をいただいた後の三國明ガバナー・エレクトの基調スピーチではRI会長エレクトのカルヤン・バネルジー氏より示された次年度テーマの「心の中を見つめよう　博愛を広げるために」を紹介し、３つの長期計画強調事項である家族、継続、変化などを説明されました。また、年度のスローガンを「ロータリーに新風を！」とすることを述べられ、それに沿った各委員会の方向性を示されました。

次年度地区幹事　**鶴見　　裕**（春日部西）

昼食後の分科会では担当諮問委員のご指導のもと、部門委員長及び各委員会委員長より、地区基本方針の詳細な説明と質疑応答が行われました。

第２本会議では、分科会の討論内容が各部門委員長より報告され、井橋吉一ガバナーよりお褒めの講評を頂戴し、三國明ガバナー・エレクトの点鐘で地区協議会が終了致しました。

尚、当初予定しておりました懇親会は中止させていただき、その分の費用を被災地への義援金とさせていただきました。皆様のご理解と温かいお心に感謝致します。

最後になりますが、未曾有の災害に襲われ、停電や原発の不安にさらされる中、地区協議会成功のため綿密な準備・運営をしていただきましたホストクラブであります春日部RCの皆様に感謝を申し上げます。

川口モーニングRC　25周年記念

姉妹クラブ締結・交流会　絆

川口モーニングロータリークラブ
札幌モーニングロータリークラブ
青森モーニングロータリークラブ
旭川モーニングロータリークラブ
京都モーニングロータリークラブ

2011年４月23日(土)
場所　　川口市
フレンディア
(創立順)

ガバナー激励

川口モーニングロータリークラブ創立25周年記念として４月23日に国内のモーニングロータリークラブの５クラブ（川口、札幌、青森、旭川、京都）による姉妹クラブ締結式とテーマ「絆」を掲げての交流会の開催おめでとう御座います。３月11日に東日本を歴史上最大の大地震と津波が襲って間もない時で余震も多く日本全体が不安に動揺している状況の中で準備をされて、５クラブが強い絆で姉妹クラブの締結式と交流会の開催は参加した皆さんを元気にして頂きました。

姉妹５クラブ共同事業

川口市立医療センター
人道的プロジェクト
東日本大震災支援活動
八戸市立多賀小学校
教育的プロジェクト

会　　長　**山口　宣道**
実行委員長　**中里　公造**
顧問ＰＤＧ　**田村　亮夫**

ガバナー　激励の言葉

締結式　会場

締結を喜ぶ、５クラブ会長

５クラブ会長、締結署名

地域体験報告　（川口市立元郷小学校）

地域体験報告（川口市立上青木中学校）

第12回 ロータリーの友

ロータリーの友地区委員　瀧田　和雄（岩槻中央RC）

『ロータリーの友』への御協力に感謝

井橋ガバナーより委嘱を頂いて私なりに懸命に努力をしてまいりました。お陰さまで我が地区の多くのロータリアンの御協力で、『ロータリーの友』の紙面を飾っていただきました。『ロータリーの友』に掲載された2770地区に関するもののうち、一部を除いて殆どが皆様の投稿によるものであります。今回は7月号から5月号までの第2770地区の成果を分類してみました。

先ず縦組みのなかからでありますが、特筆したいのが「この人、この仕事」2月号で紹介されました大宮北RCの河村屋社長染谷庄一郎会員でした。そして目立ちませんが川柳の吉川RCの金井　孝夫会員が実に4回連続で入選されました。ご存じの『友愛の広場』の5月号で写真家であります久喜菖蒲RCの林　明会員が「100歳100人を目指して」という素晴らしい企画を紹介されました。このほか3つのクラブから投稿がありました。

そして『ロータリー・アットワーク』写真編・文章編では実に17回に亘って各クラブの活動が紹介されております。如何に我が地区の奉仕活動が充実しているかを物語っていると思ってもよろしいかと思いました。毎号全国2,300のクラブの中から1.5回取り上げられるということは有り難いことであります。そのほか、巻頭の『スピーチ』では地区大会の基調講演での石田　祐寛師と第7GIMでの尾崎　啓子氏が取り上げられております。

一方、横組では11月号『エバンストン便り』で2012～13RI会長田中　作次PDGが、『未来の夢計画』では北　清治PDGが詳しく述べられておられました。12月号の『私の家族』では4クラブから素敵な写真が掲載され、9月号では大宮RCのサッカーボール寄贈の記事が、3月号には大宮シティーのNPO活動などが大きく取り上げられました。そのほか8月号には鳩ケ谷RCが中心となって近隣の街の同志による他クラブとの連携によるロータリー活動が紹介されました。ロータリー財団が実施したポリオ撲滅チャリティーバザーも2770地区のPRに役立ちました。

この様に我が2770地区の様々な活動がこれほど『ロータリーの友』に掲載されると言うことは、取りも直さず各クラブの熱心な奉仕活動への取り組みと、併せて『ロータリーの友』への参加に他なりません。こうした『友』への参加をこれからも引き続き続けていただくことを心からお願い申し上げます。

『ロータリーの友』は皆さんの投稿で出来ております。これからも『ロータリーの友』の愛読者であると共に、『ロータリーの友』への投稿をお願いします。

ガバナー月信の大切なページを頂き十分な情報の提供が出来なかったことをお詫びします。

情報の泉である友の活用を

連載

こんにちは、職業奉仕委員会です　No.11

職業奉仕委員長　川上孝次郎（蕨RC）

日本においても戦争が終わると直ぐ国際ロータリーへ復帰の希望がわき起こり、東京、大阪、京都、神戸などの各曜会はボツボツ連絡をとり始め、名簿の交換、出席率の知らせ合いなどをやり始めた。

大阪66.33%、京都62.55%、札幌62.16%、小樽64.8%、旭川61.5%、東京58.6%、盛岡54.67%、名古屋42.7%、神戸36%、門司22.25%という記録が残っている。

当時の人々の国際ロータリー復帰への思いが書かれています。

ダグラス・マッカーサー元帥Douglas MacArthurの副官バンカー大佐Bunkerからの情報にあった吉報が同年９月１日にやってきた。

国際ロータリー中央アジア駐在員としてインドのボンベイにいたジョージ・ミーンズGeorge R. Meansが帰米の道を日本へ立寄り東京のロータリー復帰協議会を訪れ、小松　隆会長の案内で東京水曜クラブの例会に出席し、翌９月２日には小松　隆に伴われて神戸へ着き、鈴木岩蔵会長に迎えられて神戸木曜会の例会へ出席、さらに翌９月３日には大丸百貨店に大阪金曜会を訪れて里見純吉会長と懇談し、午後は京都のホテルラクヨーで京都水曜会の絹川　清と会い、その夜東京へ引き返し９月７日空路アメリカへ帰っていった。

ミーンズは国際ロータリーの命をうけて日本のもとのロータリークラブの現状を見るために来たのであって、その復帰には努力するが、それまではロータリーという名称や歯車の記章の使用などは慎しむよう注意した。このようにして、1949年３月23日、東京仮ロータリークラブができ、小林雅一氏が会長となり、３月29日に旧登録番号855で再登録され、日本のロータリークラブが国際ロータリーに復帰しました。その後、京都４月５日、大阪、名古屋、神戸は４月13日、福岡４月22日、札幌５月２日と、まず７クラブが、続けてロータリーへの復帰を果たすことになります。続いて、横浜、今治、高知、広島、西宮、徳島、岡山、函館、小樽、熊本、新潟、四日市、岐阜の13クラブが1949年のうちに復帰しました。

うれしいニュースは続きました。同年11月、戦後新設クラブの第一陣として、一宮ロータリークラブが、次いで小倉ロータリークラブが誕生したのです。非常に残念なことに、日本のロータリーの創始者、米山梅吉は1946年４月28日、福島喜三次は同年９月17日、日本のロータリーの復帰を見ることなく相次いで亡くなっていました。当時の、日本のすべてのロータリアンが、この二人にこの明るい出来事を見てもらいたかったと思っていたに違いありません。

ところで、復帰したクラブは、チャーターナイト（認証状伝達式）を催すかどうかで悩んだようです。

連 載

第12回ロータリー情報ニュース
研修・リーダーシップ委員会

長期計画・ロータリー情報委員長　鈴木　操（越谷RC）

2010年規定審議会で採択決議案として、RI理事会に研修・リーダーシップ委員会の設置をクラブに奨励するように要請されました。そして、本文には次のようにあります。

国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、クラブ・リーダーシップ・プランを推奨する常任委員会に加えて、研修・リーダーシップ委員会を設置するようクラブに奨励することを検討するものとする。新会員も古くからの会員も含め、RIならびにロータリー財団の目標、規則、リソースに関する知識が欠如しているロータリアンが多く見られる。これは、クラブが徹底した定期研修を提供していないことに起因している。

クラブ会長などクラブの責務を引き受ける前に、指導力を改善する機会が与えられないロータリアンが多く見られます。地区と致しましては、RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）で対応しています。

第７回より第12回までは、2010−11年度管理運営部門セミナー、大塚信郎担当諮問の基調講演より抜粋・引用させていただきました。

文庫通信（284号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信を中心に新着の資料から

◎「ロータリーから、あなたへ。〈2000年国際協議会講演より〉」リチャード･キング 2011 2p（D.2500月信）
◎「魅力的なロータリークラブ」北清治〔2010〕4p（D.2530地区協議会記録）
◎「ロータリーの源流」田中毅 2011 21p（D.2640月信）
◎「ベンジャミン･フランク･コリンズのスピーチ原稿について」成川守彦 2011 4p（D.2640月信）
◎「ロータリーの基本精神ー寛容と奉仕の心」上野操 2011 1p（D.2580月信）
◎「出会いの不思議と面白さ」渡辺好政 2011 2p（D.2500月信）
◎「『ノーブレス･オブリージュ(高貴なる者の義務)』について」織田吉郎 2011 1p（D.2790月信）
◎「青少年はロータリーの継承者」若林洋一〔2011〕9p（D.2710地区大会特集号）
◎「CLP導入しました」天神正人 2011 2p（D.2500月信）

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]震災に関して

◎「その時ロータリーは… 阪神･淡路大震災第2680地区の記録」D.2680 1995 107p
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]
◎「震度7それでもわが大地を愛す(新潟県中越大震災復興支援活動の記録)」D.2560 2005 48p
[申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫
〒105-0011　東京都港区芝公園２−６−15
黒龍芝公園ビル３Ｆ
TEL（03)3433-6456　FAX（03)3459-7506
http : //www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時〜午後５時
休館＝土・日・祝祭日

東日本大震災 支援活動報告

川口北ロータリークラブ日本大震災支援募金活動

川口北ロータリークラブ　幹事　森川　昌紀

川口北ロータリークラブは、４月３日（日）蕨駅東口と西口に分かれて2770地区よりのぼり旗と募金箱をお借りし、「東日本大震災支援募金活動」を行いました。

当日は、季節はずれの北風が吹き真冬並の寒さの中、川口北高校の先生・生徒の皆様、当クラブの交換留学生達とご家族の皆様方、当クラブの会員・ご家族の方々等、大勢の方々に参加していただきました。

被災されている方々に何か出来る事は無いか、被災地の方々の為に少しでもお役に立てればと「今、私たちに出来ることをしたい」と思いを一つにして皆、精一杯の声を出して街頭募金活動を行いました。

おかげさまで皆様方の善意の義援金が￥380,780一円も集まりました。

義援金募金をしていただいた蕨駅ご利用の皆様方からのあたたかいご協力を頂きましてありがとうございます。心より厚く御礼を申し上げます。そして、１日も早い復興を心より願います。

一人残ったミケル

浦和北ロータリークラブ

気が付いたら、仲間が誰もいなくなっていました。同期の来日学生12人、一緒に旅行やスキーに行ってみんな良い友達だったのに‥‥。みんな帰っていってしまいました。全て震災のせいです。

第2770地区の青少年交換留学生で一人残ったデンマークのミケル君。ホストしている浦和北RCでも一度は「帰らせようか」と意見も出ましたが、彼が「ボクはもう日本人だから！」と強く残留を希望。彼の両親からも「彼は日本を愛しています。ぜひ残してやって」と手紙を頂きました。まだ余震や放射能への不安もありますが、彼はリスクよりも日本での充実した生活を選びました。日を追って見違えるように日本語が上達し、習っている空手にも一層熱が入ります。

ただ残念なのは、仲間がみんな桜の季節を楽しみにしていたのに、その直前に母国へ帰らねばならなかった事。やがて４月になり満開となった日本の桜の美しさ。彼の期待していた何倍、何十倍もの感動を受けたそうです。今度はその感激を、彼は世界の国々に帰っていった仲間達に懸命に伝えました。それが日本に一人残った彼の使命だと。そしていつか、同期の来日学生12人全員が桜の季節に日本で再会する日を夢見て‥‥。

今、わたしたちにできることは？

大宮南ロータリークラブ

インターアクト部では、４月４日から５日間、大宮駅東口ロータリー並びに、西口デッキにて募金活動をしました。

普段インターアクト部が募金活動をすると、多くても10万円ほどのご寄付でしたが、この募金では、１日50万円ほどの温かいご寄付をいただきました。この募金を通して、多くの人の優しさと被災地の方々に対する熱い思いを感じました。

この募金では、約７割を日本赤十字社に。残りの３割を救援物資に充てさせていただきました。

なぜ約３割を救援物資に充てる必要があったのかというと、「いくらお金があっても物がなくて買えない時」だったからです。震災直後に必要なものはお金ではなく、食料や衣類、おむつなどだと判断しました。この物資は第一陣をさいたま市を通して（３月22日頃？）、第二陣を株式会社シダックス（４月６日）を通して被災地に送らせていただけました。１人でも多くの方の役に立てたらと思い、第１陣は、食料・衣類・おむつ・ティッシュ・マスクなど。第２陣の４月上旬には、食料・衣類等は十分であるという報道を耳にし、子ども達が避難所で退屈そうにしているのを見て児童書（約600冊）、ノート（約800冊）、ペン類（約500本）を被災地に送りました。

私たちには、帰る家もあり、着る洋服や制服もあり、食事も満足にとれ、電気・ガス・水道も今まで通り、何事も変わらない生活ができています。しかし、東日本大震災で被災された東北地方の方々は、私たちのような生活を送ることができていません。みなさんの幸せを、少しずつ被災者の方々へ分けてあげませんか？もちろん高校生の私達ができることは限られています。しかし、高校生の私たちにもできること、高校生の私たちにしかできないことも、きっとあるはずです。小さなことから始めていきませんか？

インターネットのツイッターには、被災者の方々の悲痛のメッセージが刻まれていました。しかし、一つだけ全く違う書き込みを見つけました。それは、「日本に生まれて本当に良かった」という本当に短い文章でした。その時、なぜ被災者の方々がこのような書き込みをしたのか、分かりませんでした。日本で生まれなければ、東北地方に住んでいなければ、こんなつらい目に合わなくて済んだのに‥‥。しかし、コメントにその答えがありました。

「俺もそう思う。日本人の優しさがなかったら、俺は死んでいた。」

その時は僕はハッとしました。多くの書き込みを見ているうちに、この方が言った意味が分かってきました。

そこには多くの優しさが詰まっていました。

「M9.0世界最大級となったのか。じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしなくちゃ。」

東北大地震被災支援チャリテイーコンサートを！

久喜菖蒲ロータリークラブ

４月９日(土)　14：00　　於：久喜総合文化会館
ソプラノ：武井　優希（2003年財団奨学生）
ピアノ：椎野（松井）朋子
ゲスト出演：久喜市立久喜中学校合唱部

久喜菖蒲ロータリークラブ主催で「ポリオ撲滅チャリテイーコンサート」を企画・開催を進めておりましたが、３・11の地震の大きさ、凄さに驚愕し、急遽武井さんの賛同を得て、表記のタイトルに変更しました。お陰さまで地域のみなさまの協賛をいただき前売り券を完売して盛大に開催することが出来ました。当日会場にて義援金募金活動を致しました。

東日本大震災義援金活動

会長　仲　島　行　男（川口北東RC）

去る３月11日東北・関東大震災は甚大なる災害をもたらしました。

特に宮城、福島、岩手を中心にその近県にもたらした被害は想像を絶するものであることは皆様御承知の通りでございます。被災地の皆様には心より御見舞申し上げます。又、尊い命を落とされた方には心より哀悼の意を表したいと思います。又、クラブ会員の皆様そして御家族の皆様には人命にかかわる被害がなかった様子で安堵している次第でございます。

何に致しましても1000年に１度とも言われる大津波による被害をテレビ等で見るにつけ、奉仕団体に身を置く者として何か支援できるものはないものかと焦燥感を抱いていたところ、輪番制で朝令を行っているのですが、弊社の一社員より会社として何か協力・支援できるものはないかと提案を受けました。

そこで直ちにグループ団体であるNPO法人志陽館を前面に㈱志陽堂は協力という立場で全面的に支援活動をすることを約束した次第であります。仕事のかたわら何をしたら良いかを考えまして１人が１～２時間位できる支援は限られております。そこで、500～1,000円位は支援する人は必ずいると判断し、駅前での義援金の募金活動をしようという事に決定しました。

３月19日～６月18日迄の３ヶ月の活動で1000万の募金目標を立て集まった義援金は埼玉共同募金会を通じて被災地に届けられる仕組みであります。実際に川口駅・西川口駅、両駅で連休を返上して３月19日から実施しましたところ、一般の方々からの善意の賛同が得られこの運動をより大きくして行きたいと思いました。できれば川口駅から大宮駅までの京浜東北線各駅で支援活動をして行きたいと思っております。ロータリークラブの皆様も是非協力を賜りたくお願い申し上げる次第でございます。

ロータリーの奉仕の原点は「入りて学び、出て奉仕」と理解しております。被災地と被災者の皆様が１日でも早く、復興することを心より祈念申し上げてご挨拶と致します。

2011.4.12

『姉妹クラブより愛の義援金』

東日本大震災については台湾でも大々的に報じられており、日本が大変とのことで姉妹クラブの台湾林口扶輪社の社友およびご夫人の皆様から募金が集められました。

一日も早く届けたいとのことでご家族の心配も顧みず急遽、陳麗穂会長他２名が決死の思いで来日され、200万円と言う貴重な義援金を頂戴し、地区を通じて被災地へお届けする事ができました。

私たちも応援してます（震災復興支援）

鳩ヶ谷シティロータリークラブ

水沢集積所（サウンドキャッスル内）にて

４月９～10日にかけて震災復興支援のため、当クラブから自転車23台、ペットボトルの水・衣類等生活物資、井橋ガバナーより灯油（ドラム缶４本）軽油（ドラム缶１本）をいただき、岩手県水沢市にある2520地区支援物資集積所まで運びました。

支援物資積み替え作業

集積所では、田口 PDG ・伊藤 PDG ・田口盛岡北 RC会 長・水沢ロータリークラブのメンバーに迎えられ、早速支援物資を別のトラックに積み替え、大船渡方面へ出発しました。

津波の被害（石巻港付近）

８日には大きな余震があり、順調に行けるか心配でしたが、無事送ることができました。

この事業を行うにあたり、阿部地区補助金運営小委員長（川口南RC）・蔵島VTT委員長（大宮シティRC）・高橋VTT委員（大宮シティRC）の多大なご協力に感謝いたします。

津波の被害（石巻港付近）

東日本大震災に関するクラブの活動状況について

越谷北ロータリークラブ　広報部門委員長　**若海　兵馬**

未曾有の東日本大震災に遭遇し、多くの人命や財産を失い、生活の基盤を破壊され、幾多の苦難を強いられている被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私ども越谷北RCは被災地の一つであります、浪江RCとは長年、友好クラブとして絆を強めており、東日本大震災、併発された原子力発電所事故災害に合われた被災者の皆様は勿論、浪江町の住民の皆様はもとより、浪江RCの皆様の安否を危惧いたしました。

我がクラブの堀野会長を中心に状況の把握に努めましたが、通信機能が遮断しており、断片的な情報に終始しておりましたが、３月30日（水）の越谷北RCの例会時、意外にも浪江RCの３人のメンバーの方が、避難先よりお越しになり、ようやく詳しい状況を知り得たわけです。

新聞など、マスコミの報道により浪江町の行政の機能は二本松市に移転している事は承知しておりましたが、現地の状況は地震、津波の災害以上に原発事故による、避難指示区域指定の

ため、報道機関なども区域内に入れないため、実情は住民の方もわからず、地区一括の避難も困難を極め、住民の気持ちを一つにする事もできず、自分の家族を守る事もままならない状況と言うことでした。

そのような惨状を伺い、「この時こそロータリーの友情は被災地域の皆様に向けなければならない。」との思いから、会長、幹事の発案で会の総意をもって、越谷北RC35周年事業の予定を取りやめ、その資金の一部に、会員から募った義援金を加え、下記の支援品を持参し、4月5日、二本松市に置かれた浪江町役場に向かい、浪江RCの会員の方3名の立会の中、越谷北RC、堀野会長より浪江町総務課、根岸課長に贈呈をいたしました。なお浪江町町長とは、アポイントは取ってありましたが、非常事態のさ中、急遽の仕事でお会いできませんでしたが、福島日報の記者の方の取材を受け、報道もされております。

義援金　　1,000,000円

支援品一覧

ミネラルウォーター	350ml×24×30箱
同	2ℓ×6×8箱
同	12ℓ×5本
歯ブラシ	1,000本
髭剃り	500本
上コップ	500個
砂糖	3kg
酒粕	

なお同日、他に必要な支援物資を尋ねたところ、「ランドセルが欲しい」との要望を受けました。同時に根岸課長から、浪江町の現状、避難生活、原発の影響について詳細な説明を受けましたが、その折り「越谷北RC会員の皆様の御支援に対し、宜しくお伝え下さい。」とのお礼の言葉を頂戴しました。

住民の皆様の要望に添い、4月6日（水）の例会時、社会奉仕委員長より、会員の方々にランドセルの提供を呼びかけましたが、越谷地区のRCの方々も、越谷北RCと浪江RCの友好関係を承知しており、支援協力の申し出をいただき、特に越谷南RCはもとより、姉妹クラブであります、「台湾、台中南區扶輪社」からも義援金や支援品をいただきました。

4月18日（月）には、越谷南RCの池田会長、吉田パストガバナー、神谷ガバナー補佐、赤松会員も同行をいただき、越谷北RCの堀野会長をはじめ4名で二本松市東和支所に避難転居を余儀なくしている浪江町役場を慰問に訪れ、「台湾、台中南區扶輪社」よりの義援金、ランドセル、文房具、果物、お菓子、鶏卵、ミネラルウ

ォーター等、車３台分をお届けしてきました。

この際は、町長さんからは心のこもった謝意をいただきました。その後、被災地を回りながら、自然災害の恐ろしい現状を眼前にし、RCの奉仕の重みと、奉仕の精神を再考いたしました。被災者の皆様が一日も早く再興のきっかけをつかみ、この世のなかに遍満存在する、生々化育のエネルギーをからだ一杯に受け、「生かされて」はさておき、「生き抜いて」、被災地の一日も早い復興を御祈念申し上げます。

2011年４月26日

東日本大震災被災地ボランティア活動の報告

八潮イブニングロータリークラブ　幹事　小早川　俊雄

４月23日（土）宮城県石巻市内において、当クラブの会員及びその家族がボランティア活動に参加しました。

今回のボランティア活動には、当クラブ会員が代表を務める八潮災害ボランティアの会の呼びかけに対し、クラブから援助金として50,000円と４名の会員及びその家族が参加致しました。参加者は合計31名で、前日の夜貸切バスにて八潮市内を出発し、宮城県石巻市渡波へ向かいました。救援物資は、お米・水・おしるこ・トイレットペーパーなどを４t車で石巻専修大学校舎内仮倉庫に納めました。大学までの女川街道沿いは、辺り一面がれきの山でした。当日のボラティア活動は、渡波駅前での炊き出しと住宅街のU字溝清掃とに分かれて行いました。炊き出しは、豚汁・いなり寿司・フルーツを500名以上の方に配りました。当日は、雨で少し肌寒かったので暖かい豚汁は大変喜ばれたと思います。U字溝の清掃は、震災の影響による地盤沈下で満潮時には今でも海水が流れ込んでしまうため蓋を外しての清掃活動でした。現地に行く前は、テレビ報道により何度も悲惨な状況を見ておりましたが、実際に自分の目で見たときは、あまりの悲惨さで言葉が出ませんでした。今回ボランティアに参加した学生達若い世代の方は、口々に近いうちに又参加しなければいけないと言っていました。これを聞いて、確かに想像を

絶するような光景を目の当たりに見たとはいえ、少しでも自分に出来る事をという気持ちに対し若い世代の方を改めて見直しました。

南三陸町復興の願いを込めて

大宮シティRC　会長　永井　厚

義援金200万円、中古自転車550台、野菜果物13トン、炊き出し140人分、その他支援物資、被災地近く佐沼RCの協力、総数60トンの支援物資

５月３日、４日、15日に会員他、総勢35名で壊滅的被害を受けました、南三陸町支援に行って参りました。今回の支援活動は私の提案しました、相手の顔の見える長期直接支援方針に対して、会員の皆さんからは最高30万円の方を初め、多くの会員から総額250万円以上の義援金が集まりました。その他に会員旅行の中止による160万円、今年度にこにこ予算420万円の３分の１の140万円を合わせますと総額550万円の資金が用意できました。最初は50台ぐらい集める予定で始まりました自転車収集ですが、さいたま市西区PTA連合会の協力で、7500世帯に案内が届き、東日本大震災に自分も何か協力したいと思う多くの人の思いが、700台以上の自転車収集に繋がり、550台もの自転車を送る事に成りました。修理には会員友人が参加して頂き、彼のブログを見た自転車愛好家の方々が、遠くは名古屋、東松山、川越と県内各地から修理に来て頂き、ボーイスカウトさいたま８団の子供達、会員の皆さん、高澤会員家族は本業の自動車修理を中断し自転車修理に日夜奮闘して頂きました。集まった自転車全てに『大宮シティRC思いを込めて』のシールを張らせて頂きました。自転車を送るにあたり２回に分けて３日間で26トントレーラー、10トントラック３台、４トントラック２台、２トントラック、ワゴン車総台数13台での遠征となりました。

会員友人からの10トンの野菜、他からの果物を入れますと、野菜果物は合計13トンになりました。出発５日前に久世パストから中古自動車寄贈があり、タカザワ自動車で『南三陸町がんばっぺ１号』として今回の支援企業17社、19学校名、18個人名が記載されたワゴン車も届けました。午前２時半大宮出発しましたが途中の高速道路の凹凸がだんだんひどくなり、町に近づくにつれ跡形もない家とがれきの山、無数の車の残骸、コンクリート柱に巻きつくように曲がったＨ鋼、アパート４階屋上に奇跡的に止まった車、午前10時に南三陸到着しましたが本当に大変な惨状でありました。佐藤仁町長に義援金200万円、子供用自転車310台、大人用240台、合計550台のリサイクル自転車、生野菜果物10トン、中古自動車、飲料水、乾電池、日用品洗剤、運動靴、無洗米、輸送用軽油、５／３炊き出し志津川高校生100人分、５／４日に戸倉藤浜小学校避難者40人分の目録を贈呈いたしました。町防災庁舎で奇跡的に助かった佐藤町長の強いリダーシップと心からの感謝と書かれた手書きの名刺が大変強く心に響きました。志津川高校炊き出しでの印象は残った５切れの肉を家に持ち帰りたいと私に言った生徒がビニール袋に入れた肉を大事そうに鞄にしまった時は、涙が出そうになりました。戸倉藤浜小では自衛隊の炊き出しは１日１回であった事、現場での炊き出しは今回が初めてであった事を知り、被災者の方からは涙を流して喜ばれました。被災高齢者の多い南三陸町はまだまだ支援の必要な場所が多くある事が分かりました。

帰りに避難所代表の佐藤さんから、何回も固辞した三陸ワカメを頼むから持って行って欲しいといわれ頂いてきました。被災者の前では昼

食もとらず頑張って頂きました、会員と参加者に感謝したいと思います。

会員数61名の単独クラブによる今回の支援事業は、物資両面においても大きなものとなりました。1000年に一度の大震災の今活動するロータリークラブなら最大限の事をしようとの会員の思いが、市民の皆さんにも届いた結果と思います。支援活動の成功は南三陸町被災者が多く暮らす登米市に拠点があります、佐沼ロータリークラブ（阿部会長）会員の布施登米市長、阿部(泰)会員の協力なくしては語れません。阿部(泰)さん自身南三陸町出身で、町長初めとする町との関係が強い事、志津川病院で両親初め３人の御家族が被災された佐沼RC阿部(賢)会長初め佐沼RC関係者に南三陸町出身者が多く、大宮シティRC→佐沼RC→登米市→南三陸町という大変円滑、強力な支援体制が取れた事だと思います。今後も継続した支援が理事会でも決定していますし、伊藤エレクト、加藤副幹事も今回参加していますので継続した支援は次年度も出来ると思いますし、継続する事がロータリアンとしての使命と思います。６月にも第３回目の現地支援活動行いたいと思っています。

いつの日か、南三陸ホテル観洋で佐沼RCとの合同例会が出来る事を願っております。

節電のおねがい

日中のお店

日中とくに節電をお願いしたい電気製品

エアコン
冷房の設定温度は高めに
フィルターはこまめに清掃

照明
窓際や通路の照明の間引き
白熱灯から蛍光灯,LEDへ取替

冷蔵庫
設定温度は「中」か「弱」

日中のご自宅

ご自宅で節電をお願いしたい電気製品

エアコン
冷房は28℃に設定
日中は一つの部屋に集まって

冷蔵庫
設定温度は「中」か「弱」

洗濯機
夜間または早朝に洗濯

使い方のヒント

エアコン

- ○ エアコンの運転台数を減らすため、なるべく一つの部屋に全員が集まってお使い下さいますようお願いします。
- ○ フィルターにホコリがたまるとエアコンの効率が下がり電気をムダに消費してしまうので、月に2回程度のファイルター清掃をお願いします。
- ○ 窓からの熱の出入りを防ぐため、簾（すだれ）やカーテンの活用をお願いします。

冷蔵庫

- ○ 冷蔵庫の開け閉めはできるだけ短く少なくするようお願いします。
- ○ 詰め込み過ぎにご注意下さるようお願いします。
- ○ 熱がこもらないように壁から離すようお願いします。

照明

- ○ 昼間は点灯を控えるようお願いします。
- ○ 窓際や通路の照明の間引きをお願いします。

炊飯器　ポット

- ○ 炊飯機は食べる時間に合わせて炊き上がるようタイマー機能をうまくお使い下さるようお願いします。
- ○ 残ったご飯は保温せず　直ぐに冷蔵・冷凍保存するようお願いします。
- ○ 電気ポットは保温中も電気を消費するので、お湯を使用する都度沸かすようお願いします。

レコーダー

○ ブルーレイ・HDDレコーダーの中には主電源を OFF にしていても待機電力の大きいものがありますので、録画予約を行わない場合はコンセントを抜くようお願いします。

温水洗浄便座

○ 普段はコンセントを抜いておき、ご使用の都度コンセントを差すようお願いします。
○ 便座ヒーターをお切りいただくと共に、洗浄に使う温水の設定温度を下げてお使いくださるようお願いします。

買い方のヒント

エアコン

○ 最新のエアコンは昔に比べて省エネになっています。
○ 最新のエアコンの中には、電気をムダに消費しないように、自動でフィルターを掃除する機能も付いています。

冷蔵庫

○ 最新の冷蔵庫は昔に比べて省エネになっています。
○ 最新の冷蔵庫は放熱が少なく 壁との隙間も少なくてすみます。

照明

○ 白熱電球から蛍光ランプや LED ランプへの交換にあたっては照明器具の取り替えは基本的に不用です。

東京電力㈱ 埼玉支店 2011.4

ロータリー財団

大口寄付 30,100＄ ベネファクター
田中徳尚（川口）平成23年4月28日

大口寄付 29,230＄ ベネファクター
吉田 肇（川口西）平成23年4月8日

大口寄付 17,597.82＄
吉田豊治（越谷南）平成23年4月26日

大口寄付 13,000＄
田端宣之（川口西）平成23年4月8日

大口寄付 12,121＄
石野榮一（越谷南）平成23年4月26日

大口寄付 10,000＄
栗原正博（蓮田）平成23年4月14日

大口寄付 10,000＄
笠松雅美（川口）平成23年4月21日

M・P・H・F(8)
本多重康（八潮中央）平成22年11月9日

M・P・H・F(8)
柏原正昭（三郷）平成23年4月9日

M・P・H・F(7)
海老原邦延（川口西）平成23年4月19日

M・P・H・F(7)
小川和信（大宮）平成23年4月28日

M・P・H・F(6)
野口一雄（蓮田）平成23年4月14日

M・P・H・F(5)
小野寺芳彦（大宮北東）平成23年3月9日

M・P・H・F(5)
河端 一（大宮北）平成23年4月27日

M・P・H・F(5) ベネファクター
羽山勝幸（川口南）平成23年4月28日

M・P・H・F(4)
雨甲斐 隆（八潮中央）平成22年8月24日

M・P・H・F(4)
小林圀仁（蕨）平成23年3月23日

M・P・H・F(3)
吉岡 修（庄和）平成23年3月30日

M・P・H・F(3)
三輪俊行（春日部西）平成23年4月13日

M・P・H・F(3)
川口南RC 平成23年4月26日

M·P·H·F(3)

大久保守善
（三郷ウエンズデー）
平成23年４月28日

M·P·H·F(3)

佐藤勝範
（三郷ウエンズデー）
平成23年４月28日

M·P·H·F(3)

野口正宏
（さいたま中央）
平成23年４月18日

M·P·H·F(2)

片岡暎子
（川口西）
平成22年12月30日

M·P·H·F(2)

小宮　清
（蕨）
平成23年３月23日

M·P·H·F(2)

岡田和男
（大宮北）
平成23年４月27日

M·P·H·F(2)

河邉壽郎
（さいたま中央）
平成23年４月28日

M·P·H·F(2)

小山一宏
（さいたま中央）
平成23年４月28日

M·P·H·F(2)

芝田勝孝
（さいたま中央）
平成23年４月28日

M·P·H·F(2)

村田金重郎
（さいたま中央）
平成23年４月28日

M·P·H·F(2)

森　克夫
（三郷ウエンズデー）
平成23年４月28日

M·P·H·F(1)

斉木澄子
（川口南）
平成22年11月26日

M·P·H·F(1)

川田康雄
（三郷）
平成23年４月９日

M·P·H·F(1)

千代田利光
（三郷）
平成23年４月９日

M·P·H·F(1)

桶本　毅
（浦和）
平成23年４月18日

M·P·H·F(1)

辻村大司
（浦和）
平成23年４月18日

M·P·H·F(1)

高橋浩司
（鳩ヶ谷シティ）
平成23年４月27日

M·P·H·F(1)

仲野直樹
（川口南）
平成23年４月28日

M·P·H·F(1)

中村義旭
（三郷ウエンズデー）
平成23年４月28日

P·H·F

大月正雄
（八潮中央）
平成22年８月24日

P·H·F

加藤　修
（八潮中央）
平成22年８月24日

P·H·F

藤枝雅男
（庄和）
平成23年３月30日

P·H·F

小林玖仁男
（川口）
平成23年４月21日

P·H·F

蓬生君代
（三郷ウエンズデー）
平成23年４月28日

P·H·F

茂呂信宏
（さいたま中央）
平成23年４月28日

ベネファクター

長島　修
（桶川）
平成23年３月30日

ベネファクター

早船雅文
（川口）
平成23年４月25日

ベネファクター

井上　亮
（幸手中央）
平成23年４月28日

米山奨学会

米山功労者メジャードナー(16)

池口順造
（大宮北）
平成23年３月９日

米山功労者メジャードナー(14)

本多重康
（八潮中央）
平成22年８月24日

米山功労者メジャードナー(11)

田中章夫
（川口南）
平成23年４月28日

米山功労者メジャードナー(10)

辻村大司
（浦和）
平成23年４月18日

米山功労者マルチプル(9)

野崎昌雄
（川口中央）
平成23年４月21日

米山功労者マルチプル(8)

大竹功一
（浦和）
平成23年４月18日

米山功労者マルチプル(7)

雨甲斐　隆
（八潮中央）
平成22年８月24日

米山功労者マルチプル(6)

生田英生
（庄和）
平成22年12月28日

米山功労者マルチプル(6)

小泉勝暉
（浦和）
平成23年４月18日

米山功労者マルチプル(5)

江口正史
（川口南）
平成23年４月28日

米山功労者マルチプル(4)

斉藤隆男
（三郷ウエンズデー）
平成23年４月28日

米山功労者マルチプル(4)

鈴木勝利
（三郷ウエンズデー）
平成23年４月28日

米山功労者マルチプル(3)

松井新吉
（八潮イブニング）
平成23年２月25日

米山功労者マルチプル(2)

馬籠光廣
（川口）
平成23年４月21日

米山功労者(1)

大月正雄
（八潮中央）
平成22年８月24日

米山功労者(1)

加藤　修
（八潮中央）
平成22年８月24日

米山功労者(1)

石垣正順
（栗橋）
平成23年３月３日

米山功労者(1)

新井洋臣
（桶川）
平成23年３月30日

米山功労者(1)

樋口恵二郎
（浦和）
平成23年４月28日

米山功労者(1)

昼間孝一
（大宮北）
平成23年４月27日

米山功労者(1)

斉木澄子
（川口南）
平成23年４月28日

米山功労者(1)

田口雅弘
（岩槻）
平成23年４月28日

米山功労者(1)

蓬生君代
（三郷ウエンズデー）
平成23年４月28日

準米山功労者

高橋　博
（川口南）
平成23年４月28日

訃報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。

富田　國昭 会員
（川口鳩ヶ谷武南）
平成23年４月21日
享年66歳

新会員

納口俊通
（川口中央）
平成23年２月１日入会
株式会社　ベルエール
ビジネスサービス 不動産管理

小山賢司
（川口西）
平成23年２月15日入会
大和証券川口支店
証券業

吉田好志郎
（北本）
平成23年３月３日入会
よしだ整形外科内科
医師

山野井淳一
（大宮シティ）
平成23年３月23日入会
㈱セレモニー
冠婚葬祭業

野口道夫
（杉戸）
平成23年４月５日入会
野口製作所
カバン製造卸販売

金田敬次
（大宮西）
平成23年４月11日入会
㈱セレモニー
冠婚葬祭業

和地克彦
（大宮西）
平成23年４月11日入会
㈱パレスエンタープライズ
ホテル事業

佐藤　明
（大宮）
平成23年４月13日入会
日本生命保険相互会社大宮支社
生命保険

銭谷　茂
（浦和）
平成23年４月15日入会
㈱JTB関東本社
旅行業

牧　毅
（浦和）
平成23年４月15日入会
東京ガス㈱埼玉支店
ガス供給

菊地　治
（大宮西）
平成23年４月18日入会
望月印刷㈱
印刷業

山田信幸
（大宮西）
平成23年４月18日入会
司法書士・土地家屋調査士園田鎖夫事務所
司法書士・土地家屋調査士業

天池健一
（大宮西）
平成23年５月９日入会
センチュリー21ハウスウェル㈱
不動産売買仲介・賃借仲介・管理業

2010～'11年度 4月の会員数及び出席率報告

グループ	クラブ名	2010年7月1日現在	内女性	当月末会員数	内女性	増減	目標新会員	通算新会員	当月出席率	当月順位	通算出席率順位
第一グループ	浦和	100	0	100	0	0	5	7	85.25	33	32
	浦和東	80	2	79	2	−1	6	3	89.90	13	9
	浦和南	33	0	31	0	−2	6	0	95.24	3	23
	浦和中	40	3	39	2	−1	3	1	87.12	24	14
	浦和ダイヤモンド	21	9	21	9	0	3	1	88.07	22	18
	第1グループ計	274	14	270	13	−4	23	12	89.12		
第二グループ	浦和北	72	4	71	3	−1	10	3	90.69	10	2
	さいたま中央	48	2	47	2	−1	3	2	76.60	62	55
	浦和西	12	1	17	2	5	5	5	76.67	61	49
	浦和北東	40	1	44	1	4	3	4	85.12	34	53
	さいたま新都心	38	0	40	0	2	2	3	90.38	11	6
	第2グループ計	210	8	219	8	9	23	17	83.89		
第三グループ	大宮	52	0	53	0	1	8	8	77.40	59	51
	大宮南	33	4	38	5	5	5	5	78.94	49	50
	大宮中央	49	0	49	0	0	8	6	75.19	67	62
	大宮南東	7	2	8	2	1	3	1	78.10	56	65
	大宮シティ	55	6	61	6	6	8	8	81.97	42	36
	さいたま欅	16	0	18	0	2	5	2	75.92	65	44
	第3グループ計	212	12	227	13	15	37	30	77.92		
第四グループ	大宮西	42	0	64	0	22	5	26	83.20	39	63
	岩槻	29	4	29	4	0	3	1	60.35	78	79
	大宮北	23	1	22	1	−1	5	1	86.77	26	26
	大宮南西	13	1	12	1	−1	5	0	58.33	79	77
	大宮東	36	0	36	0	0	5	3	94.24	4	5
	岩槻東	28	1	29	1	1	5	1	82.75	40	48
	大宮北東	18	2	17	2	−1	5	1	88.23	21	37
	岩槻中央	16	0	14	0	−2	4	0	74.99	68	46
	第4グループ計	205	9	223	9	18	37	33	78.61		
第五グループ	上尾	39	0	40	1	1	5	4	76.25	63	68
	鴻巣	30	0	29	0	−1	5	0	83.25	38	24
	桶川	24	0	24	0	0	5	0	78.78	50	71
	上尾西	42	0	44	0	2	5	2	86.92	25	16
	北本	7	0	9	0	2	3	2	86.13	28	45
	上尾東	20	0	20	0	0	2	1	72.50	73	63
	上尾北	27	0	27	0	0	2	2	91.67	7	1
	鴻巣水曜	33	3	33	3	0	5	0	88.64	19	34
	桶川イブニング	15	1	17	1	2	2	2	74.99	68	75
	第5グループ計	237	4	243	5	6	34	13	82.13		
第六グループ	春日部	40	0	39	0	−1	5	1	97.27	2	8
	杉戸	24	1	26	1	2	5	3	87.48	23	31
	春日部西	36	3	37	3	1	5	2	77.60	58	35
	庄和	20	0	19	0	−1	2	0	91.75	6	12
	春日部南	28	5	30	5	2	4	2	65.00	77	72
	春日部イブニング	21	1	21	1	0	5	0	78.57	54	28
	杉戸中央	24	0	25	0	1	3	2	76.00	64	66
	第6グループ計	193	10	197	10	4	29	10	81.95		

グループ	クラブ名	2010年7月1日現在	内女性	当月末会員数	内女性	増減	目標新会員	通算新会員	当月出席率	当月順位	通算出席率順位
第七グループ	幸手	42	1	42	2	0	5	2	89.28	16	33
	蓮田	31	0	34	0	3	10	4	73.53	71	61
	久喜菖蒲	56	3	58	4	2	5	2	88.86	18	42
	栗橋	14	0	13	0	−1	2	0	84.70	35	58
	幸手中央	22	1	24	1	2	5	2	79.17	48	47
	第7グループ計	165	5	171	7	6	27	10	83.11		
第八グループ	越谷	81	1	83	2	2	20	9	85.28	32	25
	越谷南	46	2	51	3	5	5	7	77.89	57	67
	越谷北	52	0	53	0	1	5	2	81.45	45	30
	越谷東	47	6	48	6	1	3	5	78.66	52	4
	越谷中	15	1	14	1	−1	5	0	78.60	53	60
	第8グループ計	241	10	249	12	8	38	23	80.38		
第九グループ	草加	21	2	19	2	−2	5	0	65.79	76	78
	八潮	46	5	48	4	2	6	3	86.20	27	27
	草加南	10	1	11	1	1	5	2	81.81	43	70
	八潮イブニング	24	1	25	1	1	2	1	84.00	36	21
	草加イブニング	11	0	11	0	0	5	1	90.91	9	13
	八潮中央	17	0	17	0	0	5	1	88.24	20	69
	草加中央	21	0	24	0	3	2	3	79.18	47	38
	八潮シティ	9	0	9	0	0	3	0	86.11	29	54
	草加21	8	3	8	3	0	2	0	93.75	5	11
	第9グループ計	167	12	172	11	5	35	11	84.00		
第十グループ	吉川	28	1	31	1	3	5	3	78.54	55	59
	三郷	29	2	30	2	1	5	1	81.67	44	43
	三郷中央	19	0	18	0	−1	5	0	89.25	17	40
	三郷ウェンズデー	20	2	20	2	0	5	0	85.71	30	17
	松伏	12	3	12	3	0	5	1	89.58	14	29
	第10グループ計	108	8	111	8	3	25	5	84.95		
第十一グループ	川口	83	11	84	11	1	8	3	71.71	74	73
	鳩ヶ谷	27	0	27	0	0	5	1	91.66	8	19
	川口東	18	2	20	2	2	3	3	82.31	41	22
	川口・鳩ヶ谷武南	29	2	27	2	−2	3	0	72.92	72	76
	川口モーニング	26	0	26	1	0	5	2	97.44	1	10
	川口南	31	4	32	4	1	3	1	73.96	70	80
	鳩ヶ谷シティ	14	1	15	1	1	2	1	83.93	37	7
	第11グループ計	228	20	231	21	3	29	11	81.99		
第十二グループ	戸田	51	5	53	5	2	3	3	76.90	60	57
	蕨	29	1	27	1	−2	5	0	85.33	31	15
	川口西	27	3	27	3	0	3	1	78.67	51	56
	戸田西	30	3	31	3	1	1	1	75.74	66	39
	川口北	36	2	37	2	1	5	1	90.37	12	20
	川口北東	27	3	31	5	4	5	6	68.00	75	52
	川口中央	13	1	13	1	0	3	1	89.32	15	3
	川口むさし野	20	1	21	1	1	3	1	41.66	80	74
	戸田イブニング	20	0	21	0	1	3	1	81.25	46	41
	第12グループ計	253	19	261	21	8	31	15	76.36		
	地区合計	2493	131	2574	138	81	368	190	81.67		

「マレーシアからの災害支援物資の仕分け積み込み作業」

ポリオ・プラス委員長　橋本　成喜（岩槻中央RC）

５月７日にマレーシアからの災害支援物資の仕分け積み込み作業を行いました。

マレーシアから２度に亘って運搬された物資を、一度岩槻の倉庫へ輸送し、倉庫内で、現地で取り扱いやすいように仕分けしました。

こちらの物資は第2520地区塩釜へ送られ、桑原ロータリーコーディネーターを通じ被災地へ配分いただくこととなっております。

仕分け作業には、岩槻RC、岩槻東RC、岩槻中央RC、ロータリー財団部門関係者の皆様にお手伝いいただきました。

また、物資を輸入する際に、北パスト・ガバナー、泉谷職業研修チーム小委員、他多くの皆様に御尽力賜りました。

心より御礼申し上げます。

井橋年度ロータリー凧・ポリオ撲滅凧　大空に舞う